

3

台
湾

3)

0048

RA'-0097

0045

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

極秘

外機密

昭和二〇一〇三八一 暗 臺北 八月二十五日一五〇〇發 政
 重光外務大臣 本省 二十五日一八二〇着
 第三一號 大至急 成田外務部長事務取扱
 (敵國委員來臺ニ關スル件)
 停戦條約ノ締結ニ伴ヒ各國委員來臺スヘント恩料セララルル處接過其
 他ノ都合モアルニ付本件ニ對スル御見込御回電請フ(了)

0049-2

(5) 台湾

年月日

件

名

昭和二〇一〇三八一
 敵國委員來台に關する件
 中國總領事の取扱振に關する件
 台湾の現況

外務省

0049-1

RA'-0097

0046

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信案

在外務省

右実行、為、何レ支那軍、進駐行ハルルモト認マラル。

（件内自記未）

高、最高司令官又ハ支那側ヨリ、指示ニ接シ、次才電報ス（シ）

(日本標準規格 B5)

0051

電信案

在外務省

電送第 10332 號

昭和 20 年 8 月 27 日 9 時 分發

主管 政務局長

主任 政一長

發電係

昭和 20 年 8 月 27 日起草

27 20

記帳済

0050

件名	敵国委員來台ニ関スル件
宛	台湾總督府 成田外務部長事務取扱
記録件名	發 重光大臣

貴電才三ノ号ニ関シ

聯合國最高司令官ヨリハ未ダ何等ノ指示ナキモ、往電、合才六三

号(三)直リ在、日在、華ハ、蔣分石ニ降伏スルコトナリ居ルニ付

電信案

(分類)

電送第 10332 號

昭和 20 年 8 月 27 日 9 時 分發

主管 政務局長

主任 政一長

發電係

昭和 20 年 8 月 27 日起草

27 20

記帳済

0050

RA'-0097

0047

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

7
俄國領事

局長

(分類)

電 信 案	取扱に出来と同時に之を返す	電送第 10480 號	主管 政務局長
		昭和 20 年 9 月 20 日 10 時 20 分 發	主任 政一長
外 務 省	南洋政府 解通 本日其間合失電ヲ以テ次才ナルモ其 總領事ヨリ職令執行ハ終了 管電才ニニ事關シ	第 二 九 號	台灣總督府 成田外務部長代理
		記録件名	發 重光大臣

昭和二十年九月 日 起草

0053

(日本標準規格 B5)

電信寫

職令執行終了
取扱に出来と同時に之を返す

昭和二十年九月二十九日發

重光外務大臣

第三二號

(中國總領事ノ取扱振ニ關スル件)

當地駐在中華民國總領事ノ身分及其取扱振ニ關シ何分ノ儀御指示有
煩度

臺北 八月二十九日一五〇〇發
本省 三十一日〇五四五着

成田外務部長代理

0052

RA'-0097

0048

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

001

002

003

0054

○支那派遣總軍ヨリ申請ニ対スル回答ニ付スル件

九月四日午後四時ヨリ
内閣調査局ニ於テ
の場ヨリ

北地部

現地ニ於テ傳説協定ニ際シ臺灣方面ニ對シテ
セラレトスル事項

南軍ニ於テ停戦協定
九月六日署名

臺灣ハ從來支那大陸ト事情ヲ異ニシ別箇ノ完整セル行政組織
ヲ具備シ来リタルヲ以テ之ガ接收ノ場合ニ於テモ既存ノ行政組
織ヲ維持スルニシテ之ガ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメラレタキコト

一、行政組織
二、警察組織
三、教育組織
四、衛生組織
五、交通組織
六、金融組織
七、司法組織
八、其他ノ行政組織

（一）行政組織
（二）警察組織
（三）教育組織
（四）衛生組織
（五）交通組織
（六）金融組織
（七）司法組織
（八）其他ノ行政組織

（一）行政組織
（二）警察組織
（三）教育組織
（四）衛生組織
（五）交通組織
（六）金融組織
（七）司法組織
（八）其他ノ行政組織

（一）行政組織
（二）警察組織
（三）教育組織
（四）衛生組織
（五）交通組織
（六）金融組織
（七）司法組織
（八）其他ノ行政組織

（一）行政組織
（二）警察組織
（三）教育組織
（四）衛生組織
（五）交通組織
（六）金融組織
（七）司法組織
（八）其他ノ行政組織

糧食工場其他ノ糧食關係機具器材ハ臺灣島民ノ生活維持ノ為ニ必要ナル限度ニ於テ運送並ニ供給ヲ繼續セシメラルト共ニ之ガ保管ノ責任ハ既存ノ行政組織ノ系統ヲシテ之ニ當ラシメテラレタキコト

○三、同第四條ニ示サレタル事項ニ付テハ臺灣島民ノ生活維持ノ為ニ必要ナル限度ニ於テ運送並ニ供給ヲ繼續セシメラルト共ニ之ガ保管ノ責任ハ既存ノ行政組織ノ系統ヲシテ之ニ當ラシメテラレタキコト

四、中國軍 臺灣進駐ニ當リテハ特ニ治安ノ維持ニ関シ格段ノ留意ヲ拂ハレ度ニシテ之ガ為ニ左ノ措置ニ付テ考慮セラレタキコト

一、日本帝國軍隊ノ武装解除後ニ於テモ現在ノ警察組織ヲ強化シテ治安ヲ維持スルニ協力セシメテラレタキコト

二、臺灣島民ノ生活維持ニ關シテハ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメテラレタキコト

三、臺灣島民ノ生活維持ニ關シテハ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメテラレタキコト

四、臺灣島民ノ生活維持ニ關シテハ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメテラレタキコト

五、臺灣島民ノ生活維持ニ關シテハ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメテラレタキコト

六、臺灣島民ノ生活維持ニ關シテハ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメテラレタキコト

RA'-0097

0049

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

自衛ノ途ヲ拓カレタキヤト

五、臺灣在住邦人ノ生命、財産、居住、營業ノ自由ヲ尊重セラ
ルト共ニ特ニ左ノ諸点ニ付考慮ヲ拂ハレタキヤト

イ、在住邦人ノ生活維持上必要ナル限度ニ於テ相互扶助ニ關スル措置
ヲ容認セラレタキヤト (例、救護団体ノ設置等)

只農業移民其他ノ内地人ト日本政府トノ間ニ締結セラレタル土地
其他ニ關スル契約ヲ中國政府ニ於テモ継承セラレタキヤト

六、現存ノ重要企業ニ付テハ未得ル限り日華協調ノ建前ノ下
ニシテ尊重保續セシメラレタキヤト

2

七、中國軍ノ進駐ニ因リ臺灣ニ軍政施行セラレ總督府ノ機能休止
スル場合ハ之ニ代ハリ在住邦人ノ保護、企業ノ整理等ニ任ズルベキ

日本帝國ノ先機ニ對シテ
行政機關
臺灣的ニ建設的ニ
行政機關
行政機關

八、臺灣在住邦人中、本土引揚ヲ希望スルモノニ對シテハ特ニ便宜
ヲ許シテセラレタキヤト

九、臺灣ニ移レル文化、自然兩科學ノ水準ヲ維持シ更ニ之ガ發展
ニ對シテ其ノ人的基礎ヲ邦人ニ付テハ特段ノ考慮ヲ考案
セラレタキヤト

十、鐵道、通信、港灣、産業等ニ於ケル邦人職員ノ處遇、職シテハ
極力之ガ適用ヲ考慮セラレタキヤト

不
十
十

研究ヲ
要ス

3

十一、既存金融機關ニ付テハ經濟混亂ヲ生セザラシム為其ノ
債權債務ヲ尊重セラレタキコト

十二、臺灣銀行券ニ付テハ外交上正規ノ手續ニ依ル回收ニ至ル
迄ハ行政手段等ニ依リ其ノ價值ヲ喪失スル下蓋キシメザル様
措置セラレタキコト

十三、接收後ニ於ケル通貨ハ正當ナル手續ニ依ル臺灣銀行券ノ
回收ニ至ル迄ノ期間、中國政府ニ於テハ臺灣銀行券ヲ
使用シ法幣、縣銀券又ハ田表示單票等ノ使用ヲ避ケ
ラレタキコト

未發行通貨約七億(空送ノ予定) (昭二〇、九五)

0056

RA'-0097

0051

第五部長殿

台湾情報

長

二〇二六
台湾總督府ヨリ電達

0057

陸軍官三十四日着台モリカ昨日台湾總督宛命令アリ
其内容概テ左ノ如シ

台湾總督ノ一切ノ職權ハ之ヲ取消シ「總督」ノ名ヲ

台湾地區日本關係戰後連絡部長ト改メ陳長官

ノ指揮ヲ受ケ其ノ命ヲ部下ニ伝達スル責ニ任ジ新ニ命

令ヲ弁スルコトヲ禁ズ

台湾ノ地域ハ總テ之ヲ接收シ軍司令官及總督ノ權限

ハ總テ之ヲ取消ス

三
台湾

0000

0000

0058

台湾情報

一 米軍ハ石垣島地区接收ヲ終リ十百大東島接收

ヲ開始ス

二 外揚ノ為北大東島二十四日菊丸沖大島二十三日海防

艦各一隻入港ハ予定

0052

RA'-0097

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

昭和廿年五月六日

内務省管理局

台湾總督府各部接收ニ関スル件

十月三十日附葛秘書長名ノ中國側接收員派遣通
報ニ基キ台湾總督府各部局ノ概本十月一日午
前九時接收セラレ一應交替ヲ了シタリ
接收ノ精確ナル内容ニ付未ダ判明ナラズ概況
尤、通

記

被接收台湾總督府局

中國側接收機關名

官房文書課属議係

法制委員會

官房情報課

宣傳委員會

地方監察課

民政處

文教局教學課

教育處

農務局

民政處

農工局

民政處

農商局及食糧部

農林處

商政課

財政處

警務局

警務處(但衛生課民政處)

法務部

法制委員會

交通部

交通處

專賣局

專賣局

高等法院

中國側法院

0059

RA'-0097

0053

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

其ノ他圖書館、博物館、氣象台、糖業試験所、林業試験所、台湾新報社、台北放送局、同盟及内地新聞社、支局等ノ接收了リ
 但レ官房秘書官室、人事課及法令協議以外ノ文書課ハ未接收ナリ
 接收ノ内容ハ官印、職負、簿冊、備品其ノ他ノ職責ニシテ職負ニ付テハ各局課長、課長（交通局長、西部長、倉庫）以下全員ヲ接收シ原則トシテ從來ノ如ク執務セシメ、局長ニ付テハ、局長ガ親ニ處長ト同一場所ニテ執務ヲ命ゼラレタル外ハ全部一應離職シタルモノトシテ、取扱モ、如シ但レ行政公處ニ於テ必要アル場合ハ、隨時度要案件ニ就テ協カテ求メラレクモナリ

本件發送先
 大臣、次官、陸軍、情報局、外務省

0060

RA'-0097

0054

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

台湾

A 110.0.1-2

電報案

(陸軍電)

中

進駐受入一書
支那關係

台湾ニ関スル停戦協定ニ関シテハ台湾カ荒蕪セル秩序ニ
下日文兩國民族多年ニ亘ル平和的治寓ニ依リ産業
經濟文化ヲ發展セシメタルニシテ帝國トシテハ支那
領有下ニ於テ支那側ニ於テ之等秩序ヲ尊重シ且ツ日
本人ノ治寓ヲ治用シ台湾ヲシテ將來ニ於ケル日文親善
友好ノ模範地トシラシメラシムト切望スル次第ニシテ
之カ為停戦協定實施ニ當リテハ(一)將ニ日本軍ノ武装解除
隊直後ニ於ケル治安ノ維持ニ留意シ上在在日本人ノ生
命財產ノ保護ニ万全ヲ期スルト共ニ(二)行政經濟全
融産業等ニ亘リ出來得ル限リ原元有ノ秩序組織
ヲ治用シ混乱ニ陥ラシムトナキ様先方ノ諒解ヲ得ル如ク

外務省

(日本標準規格 B5)

0061

御努力相成致

之カ具体的措置ニ関シテハ現地軍總督ト中國側責任
者トノ間ニ於テ右方針ニ對シテ話合ヲ取進ムル如ク致度
尙中國陸軍總司令部備忘録第六號ニ對スル回答
ハ別電ス

外務省

(日本標準規格 B5)

0062

RA'-0097

0055

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

中國戰区中國陸軍總司令部備忘録 中字第六號
 中華民國三十四年八月二十五日

一、凡ノ日軍現駐地区内一切行政組織及日軍、共植ニ係
 組織ハ直ニ當該組織既有人名、財產簿、公文書、記
 書、土地、建物、金器具、印信等ハ總テ目錄ヲ作成シ
 且、人員ヲ指定シテ責任ヲ以テ保管シ接收ヲ待メシ移
 移、破壞、移讓、隱匿等ノコトアルヲ得ス
 前項ニ稱スル行政組織トハ各種村閭、銀行、學校、
 病院及同組織ノ經營者ハ占有スル各種工廠、炭坑、
 商店、倉庫、公共事業等ヲ包括ス
 二、凡ノ財務及金融機關ハ公債、庫券、紙幣及紙幣
 ニ類似スル手形、印刷幣ニシテ未發行ノ手形及之カ

外務省

(日本標準規格B5)

0063

洞版並財產、現金、證券帳簿及保管、公債庫
 券基金、紙幣券(行、準備金等一切、保管財物ハ
 總テ封印保存スルト共ニ係員ヲ派遣シ原管理人ト
 共ニ責任ヲ以テ保管シ接收ヲ待メシ
 三、日本軍總司令部及所屬各部隊並各級糧食管
 理組織ノ各地ニ於テ保有シル糧食、運務器材、包
 裝器材、倉庫施設、糧食工場及其他、糧食園
 係器材ハ直ニ各地ニ毎ニ種類、數量、集積地等
 ノ明細書ヲ作製提出シ接收ヲ待メシ接收者ニ於テハ
 倉庫、糧食及一切ノ器具、器材施設等ハ日本軍ニ於テ
 係員ヲ派遣シ責任ヲ以テ保管スヘシ空陸上ニ移送中
 ノ糧食ハ其經營者ニ於テ直ニ最寄ノ港(埠)都市、
 倉庫ニ交付シ貯蓄保管スヘシ軍用糧食工廠及日

外務省

(日本標準規格B5)

0064

RA'-0097

0056

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

本人、投資等、合弁ニ依ル糧食工廠ハ夫々原經營者或ハ
 支配人責任ヲ以テ甚ク完整ヲ保持スルニ
 四、經濟生産事業ニ關係スル組織及占有或ハ貯蓄ニア
 ル物資ニシテ液体燃料、石灰、綿花、綿糸布、生糸、硫
 糖、茶、豆、羊毛、皮革、紙、油類、金物、器械及鉱産品
 等ハ總テ日本軍ヨリ係官ヲ派遣シ原保管人ト共ニ責任
 ヲ以テ保管セシメ接收ヲ待タシムヘシ其ノ各項組織ノ經營
 等ハ占有シアルモノニシテ各種事業ト需要關係ヲ有ルル電
 力、水道、瓦斯、炭坑等ハ接收迄依然供給ヲ繼續スヘシ
 五、公共事業中鐵道、公路、水運、空輸、郵政、電信等ノ
 各交通事業中ノ業務ハ接收前ハ一律ニ平常通リ維持
 シアルヘシ又本總司令、中、支、隊各部隊志願者ニ係
 六款ニ基キ速カニ解散スヘシ

(日本標準規格B5)

0065

外務省

六、教育文化ニ關係アル公私文物、圖書、儀器、古書古物、
 拓本、書畫、建築、彫刻、美術品及一切ノ文獻ハ接收
 前ニ於テハ原保管人ニ於テ責任ヲ以テ保管スヘシ毀損
 スヘカラス
 中國戰区中國陸軍總司令陸軍一級上將 何應欽
 本備忘録ハ本總司令部副參謀長冷欣中將ヲ以テ回信等次
 將軍ニ手交セシム

(日本標準規格B5)

0066

外務省

RA'-0097

0057

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

現地ニ於テハ停戦協定ニ際シ台湾ニ関シ考慮セシメキ事項

台湾ハ従来支那大陸ト事情ヲ異ニシ別箇ノ完整ニテ行政組織ヲ具備シテキルヲ以テ之ガ接收ノ場合ニ於テハ既存ノ行政組織及社会経済ノ秩序ヲ尊重ノ上之ガ活用ヲ圖ラシムルヲ第一トシ特ニ尤ノ諸君ニ因リ特段ノ考慮ヲ拂ハシ度

一、中国戦已中国陸軍總司令部備忘録中字第一号ヲ以テ條ニ示テタル財務及金融機関ノ運営ニ付テハ台湾島内ノ経済秩序維持ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ之ヲ許容セシメキこと

二、台内ニ於テハ糧食・運輸器材・包装材料・倉庫施設・糧食工場等其ノ他ノ糧食関係器材倉庫施設ハ台湾

外務省

(日本標準規格B5)

0067

島民ノ生活維持ノ爲ニ必要ナル限額ニ於テ之ヲ使用セシメシムルこと

三、台内ニ於テハ行政事項ニ付テハ台湾島民ノ生活維持ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ運営並ニ供給ヲ繼續セシムルこと其ノ之ガ保管ノ責任ハ既存ノ行政組織ノ系統ヲ以テ之ニ當ラシメシムルこと

四、中国軍ノ台湾駐在ニ付テハ特ニ治安ノ維持ニ関シ格段ノ留意ヲ拂ハシ度之ガ爲メニ措置ニ付テ考慮セシメシムルこと

五、日本帝國軍隊ノ武装解除後ニ於テモ現存ノ軍事組織ヲ強化シ武装警察官ヲ認メ治安維持ニ協力セシメシムルこと

六、台湾島内各地域ニ自治自衛組織ヲ認メ相互扶助ニ

外務省

(日本標準規格B5)

0068

依ル自存自衛ノ途ヲ拓カシキト

五、台湾存住邦人ノ生命、財産、居住、營業ノ自由ヲ尊重セ
ラルトテ、特に在ノ諸島ニ付考慮ヲ拂ヒシキト

六、在住邦人ノ生活維持上必要ナル限ニ於テ相互扶助ニ因テ
措置ヲ奏望セシキト（例、援護団体ノ設置等）

七、農業移民其他ノ内地人ト日本政府トノ間ニ締結セシ
土地其他ノ因テ契約ヲ中国政府ニ於テ繼承セシキト

八、現存ノ重要企業ニ在テハ未得ル限リ日華協同ノ建前ノ
下ニテ適當ノ保障ヲ与ヘシキト

外務省

(日本標準規格B5)

0069

七、中国軍ノ進駐ニ依リ台湾ニ軍政施行セシ總督府ノ機
能休止ニ協定ハシ、據リ在住邦人ノ保護、企業ノ整理等ニ
任ルル日本帝國ノ出先機関ノ設置ヲ望ミシキト

八、台湾在住邦人中、本土引揚ヲ希望スル者ニ對シテ、特ニ便宜
ヲ許スルベシキト

九、台湾ニ於ル文化、自然兩科學ノ水準ヲ維持シ、更ニ之ヲ發
展シ、好ムル其ノ人的基礎ニル邦人ニ在テハ、特段ノ処遇ヲ考慮セ
シキト

十、鐵道、通信、港湾、産業等ニ於テル邦人職員ノ処遇ニ因テハ、
極力之が活用ヲ考慮セシキト

外務省

(日本標準規格B5)

0070

RA'-0097

0059

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

A'1.0.0-1-2

略

略普通電報

宛陸軍次官

○ 臺電才九三六號

臺灣軍管區參謀長(台北)

昭三〇、二、二

0072

治安一般狀況

逐次悪化シテ殊一本島學生青年層ノ不法越軌事件頻
発シテ甚憂スベキ状態ニアリ

軍記、緊縮ニ関シテハ將校ノ自肅ト信賞必罰ノ勵行等ハ
監督指導ヲ嚴シアルモ一部ニ尚非違犯行後ヲ絶タズ

又上官身ヲ以テ軍紀ヲ振作スベク部下下士官兵ヲ殺傷凡
件ニ件発生セリ

軍關係、持收八十一日ヨリ開始セラレ

臺北(軍司令部才六十六師團軍直部隊)
基隆(獨立混成才七十六旅團)

宜蘭(独立混成第百十三旅團船舶工兵才八聯隊一部)

十一、侵佔金融機關ニ付テハ至清混乱ヲ生セザルニ其ノ
債取債務ヲ尊重セシムルニ

十二、臺灣銀行券ノ外交上ノ正取ノ手續ニ依ル回收ニ到ル迄ハ
行政手續等ニ依リ其ノ價值ヲ喪失スル下等セシムル種指印シ
セシムルニ

十三、接收後、於ケル通化員ハ正當手續ニ依ル臺灣銀行券ノ回收
ニ至ル迄ノ期間、中國政府、於テモ臺灣銀行券ヲ使用シ
得ル法律、時銀券又ハ日圓() 表示用紙等ノ使用ヲ
許セシムルニ

(昭和三〇、九、五)

外務省

(日本標準規格B5)

0071

RA'-0097

0060

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

陳了(下)花連港、臺由(一)混成第百二旅團
 及新竹(十九師團)附近二會施中ニシテ概不圓滿裡ニ
 進行中ナリ
 一、港灣主、都市飛行場及交通機関等、復旧工事
 爲武裝解除後、軍隊ヲ以テ作業開始豫定

0073

略號急電報

宛 次官
 總參三電第七八〇號

支那派遣軍總參謀長

大雅丸因
 大野中佐後刻
 連絡了レシ
 台家電第五五六號關聯
 大雅丸中國側接收員派遣儀裝並ニ對日航關六
 總達米第六九號ヲ以テ更中側倒南請セシ付
 中央ニ於テ聯合軍ニ對テ對衝方特ニ配慮相煩シ度
 商量ニ申請セシ付、廣シク國訓會ハ總參ニ電第三五二號
 及第五五五號ニ通シテ命令シ置カレ度
 通電先 次官 部

0074

信務部長

昭和二十一年二月十日

總務課長

臺灣ノ現況

新時大

駐日使館

外務省管理局總務部南方課
(外務省四階四〇六番室 齋藤)

0075

一、緒

現在日本ノ内地ト台湾間ノ交通々信ハ在内地ト台湾人送還及在台湾ノ日本軍人軍属ノ送還並安否向合セノ葉書通信ニノミ限ラレ官吏ノ來往ハ勿論資料ノ送付等ハ嚴重ナル取締下ニ禁止セラレ後テ現在台湾ノ實情ヲ正確ニ把握スルコトハ極メテ困難ニシテ誤ナキヲ保シ難キモ今日迄ノ諸情報ヲ綜合シ一應取纏メタルモノナリ

二、終戦前ノ島内情勢

台湾ハ戦前ノ兵力一方ニ滿タゲリシ終戦前ニ於テハ陸軍三〇万(内本島ハ台島内定員〇万)海軍四万ニ達シ居リ台湾總督ハ台湾軍司令官ヲ兼ネ軍官民一致ヲ以テ島民ヲ擧ゲテ台湾ヲ死守シ敵ノ進攻アラハ台湾ニ於テ其ノ戦力ヲ消耗セシメ戦勝ニ寄与セント台湾全島要塞化ノ目標ノ下ニ軍官民ノ意氣高昂ニ具ノ最高潮ニ達シアリタリ
總督府ハ台湾軍參謀部、海軍警備府參謀部ト共ニ合一廳舎(法院テ舎)ニ入り地方ノモ亦各地方軍首腦部所在地ニ代表幹部ヲ駐在セシムル等軍

0076

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RA'-0097

0062

官相互連絡ヲ密ニシ中央地方ヲ通シ何レモ軍官連絡會議ヲ常時開催シ向
隙ナカラシメツ、アリタリ
島民亦良ク我施榮ニ協力シ皇民奉公會ノ精神運動ニヨリ報國ノ氣運盛リ
止リ台湾領有以未ダ曾テナキ皇民化ノ実ヲ奉ゲ敵ノ進攻迎接ニ從ヒ戰
闘行為ニ直面スルノ場合ヲ考慮シ従来ノ精神運動団体タル皇民奉公會ヲ
發展の解消セシメ実行団体義勇隊ヲ結成シ全島のニ対敵直接行動ニ移リ
得ルノ態勢ヲ整ヘ居タリ

三、終戦時ノ概況

總督府ハ直チニ評局長會議、軍官連絡會議ヲ開催シ治安ノ維持、人心安
定ニ最善ノ努力ヲ拂ヒタル如ク八月十五日突如下シテ終戦ノ御放送ヲ拜シ
タル一般島民ハ内地人タルト本島人高砂族ヲ向ハズ一時呆然トシテ為ス
所ヲ知ラサル狀況ニ在リタリ
内地人ハ勿論本島人、高砂族モ共ニ敗戦ヲ悲ミ將來如何ナル狀況下ニ置
カルハヤハ懸念シ只管事態ヲ静觀シツ、如何等憂フベキ事態ヲ發生セ

外ニ

ズ

本島人青年ハ既シテ敗戦ノ悲嘆ニ暮レ日本治下ニ在リテ之ニ協力セルニ
場中中國ノ処遇芳シカラザルヲ憂ヘ老人層亦曾テノ支那統治時代ノ悲惨
察状態ヲ想起シテ不安ニ戰キ高砂族ノ如キハ純真ニ敗戦ヲ嘆クト共ニ曾
テノ支那領時代ノ在政ヲ再現ヒラル、ヲ憂ヘタリ

四、終戦後ノ狀況

(甲) 接收狀況

(一) 準備行為

(1) 八月卅日重慶ニ於テ台湾省行政長官公署組織及主要幹部任命發
表ヒラレ探係ヲ中國台湾省行政長官兼台湾省警備司令ニ任命

(参考)

○ 台湾省行政長官公署組織

- 一、台湾省行政長官隷屬行政院依據法令綜理台湾全省政務
- 二、行政長官於其職權範圍內得發署令並得制定台湾單行條例及

規程

三、行政長官得受中央依託，并理中央行政對於在台灣之中央各機關有指揮監督之權

四、台灣省行政長官公署設左列各處

- 一、秘書處
- 二、民政處
- 三、教育處
- 四、財政處
- 五、農林處
- 六、工礦處
- 七、交通處
- 八、警務處
- 九、會計處

五、行政長官公署必要時得設置專管機關或委員會視其性質隸屬

於行政長官至各處之組織由行政長官決定之

六、行政長官公署置秘書長一人輔佐行政長官綜理政務並監督各處及其他專設機關事務 秘書長下設機要室、人事室、各設主任一人

七、行政長官公署會計處設會計長一人、各處得設置處長一人承行政長官之命綜理各該處事務並指揮監督所轄機關事務及所屬職員、各處設主任秘書、秘書、科長、技正、技士、視察、技佐、科員、弁事處承上官之命分司事務其員額另定之

八、行政長官公署得置顧問、參議、諮議等聘用人員十本大綱公布日施行

。台灣省行政長官公署主腦部人事

行政長官 陳 儀
行政長官公署秘書長 葛敬恩

- 秘書処長 錢崇超
- 民政処長 周一鶚
- 教育処長 趙迺傳
- 財政処長 張廷哲
- 農林処長 張蓮芳
- 工銘処長 包可永
- 交通処長 徐學禹

(3)(2)

八月下旬數名ノ米軍々人及中國軍人非公式ニ來台(狀況偵察)
 九月九日午前九時南京ニ於テ岡村將軍ハ何應欽トノ商ニ降書ニ
 調印台湾ヨリハ諫山台湾軍參謀長高維管備有參謀副長須田台湾
 總督府農商局長及民間人林獻堂、許丙、辜振甫ノ三名ヲ派ス又
 南京ヨリノ招聘ニヨリ林獻堂(前記)林呈録、羅萬傑、陳斯外三
 人ヲ舊文化協會系統民間人ノ渡支配リ

(4)

(1) 十月五日中國台湾省行政長官公署秘書長葛敬恩ハ中國前進指
 揮処主任トシテ顧問タル米國軍人數名ヲ含ム一行ニ一五名ヲ
 率イテ午後四時着台シ前總督官邸ヲ事務所トシ直チニ前進指
 揮処通告、進字第一号ヲ交付ス

(要旨)

- 1. 陳儀上將着任前ハ一切ノ行政、司法、交通、信、教育ノ維
 持、繼續命令
- 2. 台銀券ハ引繼キ流通許可ス
- (ロ) 九部門ノ接收專門委員ヲ設ク(民政、教育、財政、農林、鉉
 工、交通、市政、新聞放送)
- (5) 十月七日旧總督官邸ニ於テ台湾總督ニ對シ台湾省行政長官公署
 備忘録台政字第一号及第二号ヲ軍司令官ニ對シ台湾省警備司令
 備忘録軍字第一号及第二号ノ交付式ヲ舉行シ夫々手交ス
 (要旨)

(一) 政字第一号

- 一、陳儀行政長官ハ蔣委員長ノ名ニヨリ台湾ノ領土人民其他一切ヲ接收ス
- 二、總督ハ尔今行政長官ノ一切ノ命令ヲ奉行シ所轄機關ノ履行事項ノ責ヲ負フベシ
- 三、總督ハ下記事項徹底実施方監督ノ責ヲ負ヒ本長官派遣員ノ接收ニ備フベシ
 - イ、凡ユル交通々信、生産、貯藏、文獻、資料、研究ノ現状維持保存
 - ロ、現行警察ニヨル治安ノ良好ナル維持、日本官吏ハ現職ヲ保テ行政ヲ繼續スベシ商工業ハ廢スベカラズ學校ハ授業ヲ停止スベカラス
 - ハ、改姓名ノ許可停止
- 四、總督ハ下記各項ノ調査書ヲ十日以内ニ完成提出スベシ
 - 一、公私財産ノ轉移及賣買停止並公債社債ノ募集停止
 - 二、總督ハ下記各項ノ調査書ヲ十日以内ニ完成提出スベシ
 - 三、公營事業ノ機構分布資産業務狀況
 - 四、金融機構經營業務及分布
 - 五、台湾銀行券發行狀況ノ詳細
 - 六、物価指示表
 - 七、政府投資事業狀況
 - 八、右以下十八項目ニ亘ル産業行政教育等ニ關スル詳細ナル調査

0083

内

(二) 政字第二号

- 一、台湾幣制整理前ニ於テハ現行幣制ヲ採用ス
 - 二、行政長官公署及前進指揮所ノ必要トスル資金ニ充テルタメ即時台銀券三千万圓ヲ提出シ且ツ主任ノ必要ニ応ジ即時並隨時提供スベシ
- 十月十一日財政接收專門委員ヨリ左ノ指令アリ

0084

0066

RA'-0097

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(12)

- 1. 台湾銀行券ノ増発停止及貸出抑制
- 2. 公立機關ノ予算外支出制限
- 3. 官營事業ノ收支及專賣品保管数量ノ週報提出

(7)

十月十三日前進指揮処布告台進字第一二二号交付

(要旨)

1. 中華人民ハ日本人ノ公私財産ヲ買取ルベカラズ
政字第一号ヲ知ラズシテ八月十五日以後財産ヲ買取リ或ハ改
姓名ヲナシ營業ヲナシタル者ハ速ニ申告シ現物ヲ元所有主ニ
返還スベシ

2. 日籍官民ハ法ヲ遵守シ法ニ抵触スル勿レ若シ犯行アルトキハ
本人ノミナラス累ヲ政府ニ及ボス

3. 右遵守レヨコ、ニ布告ス

- (8) 十月十六日、行政長官公署々員第二次二〇〇名看台
- (9) 十月十七日、中國進駐軍約九〇〇〇人基隆上陸

外三

(10) 前進指揮処布告台進字第三号

(要旨)

不法行為控訴スルモ嚴重ニ処置ス

1. 台湾ヲ主權ハ中國ニ接收セラレタルモ正式事務接收前ハ現存
條約ニヨルモノナリ右ハ中國政府ノ命ニヨル執行ナルガ故ニ
人民ハ遵守レヨ

2. 台湾ニ在ル者互患互助スベシ 有力者ハ指導ニ任ジ各地方実
際ノ必要ニ応ジ必要限度内ノ地方服務隊ヲ編成シ軍警ト協力
スベシ

- 3. 日籍官吏ハ確實ニ責任ヲ以テ地方ノ治安維持ニ精勵セヨ
- 4. 日籍居留民ハ本処ノ命令布告ノ遵守奉行セヨ中華軍民ニシテ
濫リニ不法ヲ為ス者アルトキハ嚴重ニ制裁ス
- 5. 中華官憲ハ責任重シ忠實ニ服務スベシ不法行為ハ嚴重処罰ス

(11) 十月十九日前進指揮処台進字第四号「公布」

0086

0085

RA'-0097

0087

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

142

(要旨)

- (1) 國籍ノ如何ヲ向ハス現行税則ニヨリ納税ノ義務アリ
- (2) 十月廿二日、中國進駐軍約ハ、〇〇〇名着台
- (3) 十月廿四日、陳儀行政長官兼警備總司令以下勅任四、奏任四〇
- 判任一〇〇、警察二〇〇〇名着台

(二)

接収

(1) 十月廿五日、前總督官邸ニ於テ受降式奉行セラレ陳儀ヨリ總督ニ對シ命令書第一号手交

(要旨)

- 1. 支那派遣軍總司令官岡村大將ハ台湾澎湖島ニ在ル陸海軍ヲモ率テ何處欽ニ無條件降伏セリ
- 2. 本官及本官ノ指定スル部隊及行政官ハ台湾澎湖島ノ地区ノ日本陸海空軍及其補助部隊ノ投降ヲ接受シ併ヒテ台湾澎湖列島

内四

- 3. 領土、人民他、軍政施設及資産ヲ接受ス
- 貴官ハ凡ソ台湾總督及第一〇方面軍司令官等ノ職權ハ一律ニ取消シ台湾地区日本官長善後連絡部長ト改稱シ本官ノ指揮ヲ受ケ屬下ノ行政軍事等一切ノ機關部隊人員ニ關シテハ本官ノ命令訓令規定指示ヲ傳達スルノ外如何ナル命令ヲモ發スルヲ得ス
- 貴下ノ部下ハ本官ノ指定シタル部隊長官及接收官吏ノ命令規定指示ノ傳達ヲ為シ得ルニ上リ自ラ恣ニ全テヲ処理スルヲ得ス
- 4. 貴下自身並ニ所屬一切ノ行政軍事等ノ機關部隊人員ニ命シ直チニ迅速ニ確實ニ何時ニテモ命ヲ待ツテ交替シ得ル如ク準備ヲ始ムベシ若シ移讓スベキ物件ニツキ不正アラバ必ズ糾明処断ス
- 5. 以前ニ貴官ニ宛テタル各号ノ備忘録及前進指揮処主任葛敬恩

0088

0087

RA'-0097

0088

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(2) 同十月廿五日行政長官公署布告署秘第一号公布

(内 容) 陳儀ヲ台湾行政長官ニ轉任ストノ國民政府ノ命ヲ受テ且ソ同海印章一個ヲ接受セリ依テ十月廿五日ヨリ就任シ該印章ノ使用ヲ開始セリ

右全省人民全部ニ周知セシムル為持ニ通告ス

(3) 十月廿八日 行政長官公署訓令外秘第一号ニヨリ日本官兵善後

(4) 十月三十日右ニ對シ行政長官公署ヨリ成田一郎ヲ日本官兵善後連絡部副部長ニ任命シ不在中須田一二三ヲシテ代理副部長タラ

ムト通達アリタリ

(5) 十一月一日台湾總督府台北州台北市及其他接收

(1) 官房秘書官室人事課 文書課及外事部ヲ除キ他ノ局部課ハ具體的ニ事務引継ノ形ニテ接收セル

接收図示

官 房	官 房	官 房	官 房	官 房	官 房
法 務 部	文 書 課	文 書 課	文 書 課	文 書 課	文 書 課
情 報 課	文 書 課	文 書 課	文 書 課	文 書 課	文 書 課
宣 傳 委 員 會	法 制 委 員 會	法 制 委 員 會	法 制 委 員 會	法 制 委 員 會	法 制 委 員 會

官房	文教科	警務局	文教科	財務局	農商局	鑛工局	農商局 (商政課ヲ除ク)	同局食糧部 (衛生課ヲ除ク)	警務局	交通局	專賣局	高等法院
地方監察課	援護課	衛生課	教務課	商政課								
民政處	教育處	財政處	會計處	財政處	工鑛處	農林處	警務處	交通處	臺灣專賣局	臺灣省法院		

0091

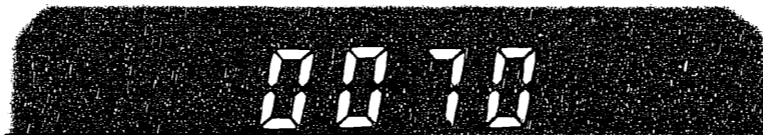
内五

職員ニ付テハ、鑛工局長、逓信部長、鉄道部長、專賣局長ヲ除ク、
 外各局長ハ出勤ニ及バズト排除シ、各課長以下ハ、其ノ供一
 不徵用使用セラル

0092

- (19) 終戦後ノ一般概況
- (1) 台北州及台北市
- (イ) 台北州ハ州知事ヲ排除シ、各部長ハ、顧問トシ、課長(警務課長、
 高等課長ハ排除)以下ヲ使用
- (ロ) 台北市ハ市長ヲ排除シ、助役ハ顧問トシ、課長以下ヲ使用
3. 其他接收セラレタルモノ
- 図書館、博物館、気象台、糖業試験所、林業試験所、合渡
 新報社、台北放送局、同盟通信社、内地新聞在支局等
- 丁月廿八日侵未未接收ナリシ總督官房、秘書官室、人事課、文
 書課及外事部接收サル

RA'-0097



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(20)

(一) 政治

(1) 中央行政

(イ) 組織

國民政府行政院ニ隸屬スル行政長官ヲ長トスル台湾省行政長官公署ヲ中央行政廳トシ其ノ下ニ秘書處、民政處、財政處、農林處、工鉱處、交通處、警務處、會計處ヲ置キ別ニ行政長官ヲ輔佐シテ政務ヲ綜理シ且各處ノ監督ヲナス秘書長ヲ置ク

(ロ) 運官

十月廿四日陳儀行政長官以下ノ台湾到着ニ依リ一々態勢ヲ整備シ翌廿五日ヨリ發足シ十一月一日台湾總督府各局部ノ具體的接收ヲ為シ後未ノ總督府課長以下ノ職員ヲ使用シテ(但シ其ノ後續々罷免セラレシ、アリト)運営ヲ開始ス
而シテ其ノ狀況ヲ見ルニ十月廿九日孫文追悼禮拜式止陳儀長官ノ表明セル台湾三大行政策ナル民生向上、教育普及、民意

外五

表明機關ノ創立スラモ未ダ其ノ實現ヲ見ス概シテ行政能力薄弱ニシテ台湾省政府ニ對スル島民ノ信頼感ハ極メテ薄キモノ如ク、台北地区駐在ノ米軍將校等ノ見解モ中國當局ノ無計畫性ト遜々タル施策振リヲ指摘シ經濟的ニ新ナル混亂ニ陥レル危險アリト見做シ、固有財產等ノ接收スラ數年ヲ要スルモノト觀測シ居レモノ、如シ

0094

(2) 地方行政

(イ) 組織

後未ノ州、縣、郡、市、街、庄ヲ其ノ區別ノ依、果、特別市、郡、鎮、郷ト改称シテ行政ヲ實施ス

(ロ) 運官

台北市、台北市ハ十一月一日、他ハ十二月八日中國人ヲ長トスル接管委員會ニ依テ接收ヲ為シ其ノ長ニハ中國人及台湾民間人ノ登庸セル者ヲ充テ一般職員ハ大部分後未ノ職員ヲ使用

0093

(三) 經濟

(1) 金融通貨

(但シ其ノ後續々嚴免セラレツ、アル由) シツ、アリテ其ノ
 運管狀況ハ無計畫性ト施策ノ緩慢トニ依リ台湾人ノ信頼ヲ未
 ダ得ザルモノ、如シ、

日本銀行券ハ流通禁止セラレ(之ガ所有者ハ一年ノ定期預金ヲ
 為サシメラル) 且下唯一ノ通貨ハ暫定的ナルモ台湾銀行券ノミ
 (但シ千円券ハ強制預金ヲ為サシメラル) ニシテ台銀券ト法幣
 及弗トノ交換ハ禁止セラレ曩ニ中國銀行ノ台湾進出ノ報アリタ
 ルモ設置準備中ニシテ新通貨モ目下上海ニ於テ印刷中ナリト
 右交換禁止前ハ交換レートノ思惑ニ依ル金融不安アリタルモ現
 在ハ表面的ニ不安ナク法幣ハ戎克ニ依ル支那本土上ノ密貿易ニ
 專ラ使用セラレ台北市大福程(台湾人所)ニテハ秘カニ弗買ガ
 行ハレ居ル由ニシテ十一月頃ハ米貨ニ弗四十円乃至五十円ニ上
 昇

0095

(2)

十二月ニ入りテ大体日本取極メノ二倍即チ三十円ニ落付キ
 居レ由ナリ 又日銀券ト台銀券トノ市中闇取引ヲ見ルニ日銀券
 ノ流通禁止前ハ思惑不安ヲ含ミ日銀券一五四、台銀券一〇〇
 円ニシテ禁止以後ニ於テハ日銀券一〇〇〇円、台銀券八〇〇
 円乃至六〇〇〇円ニ下落セリト

而シテ流通々貨數量ハ終戦直後ニ九億円ナリシモ日銀券及千円
 券ノ強制定期預金額七億円ヲ差引キ現在通貨ハ三三億乃至二四
 億ニシテ一般企業停止シアル為極悪状況ニアリ一忒安定ノ体ナ
 ルモ極メテ薄弱ナル安定状態ナリ

地方銀行ハ僅クニ預金ノミヲ扱ヒ居レリ

産 業

終戦後テ産業事情極メテ不明確ニシテ在台日系事業ハ全部接收
 セラレタルモノ、知り経営者、幹部ニ止マラス技術労働者ヲモ
 台湾人ニ依リ運営セラルベントノ論議横行ノ由ナルモ現実尙懸

0096

RA'-0097

0072

トシテ事情再建ノ努力ハ邦人ノカニ俟ツモノ多クナリト慰料セラル
會社ノ工場等ハ何モ中國側專門委員ノ管理ニ依リ操業ノ方針ナルモ現在操業シ居ルハ台湾拓殖、台湾電力、製糖工場、石炭セメントノ如キ一部ノミナリト
尚十月所江財閥ノ台湾進出ヲ許サバル旨ノ陳儀長官ノ声明アリタル由ナリ

(3)

物価及物資配給
生活又配物資配給極積ノ混乱、廢止ニ依リ物価ハ主要食糧ニツキ公定価格アルモ警察ノ無カト相俟テ闇物格ヲ生ジ昇騰ノ一途ヲ辿リツ、アリ而シテ物価指数ハ終戦時ヲ基トシテセノ如シ(一月末現在)

- 食糧品 一一・八
- 衣料品 一六・八

0098

(三)

治 安

終戦直後ハ全島民ヲ峯ゲテ呆然トシ只管靜觀ノ態度ヲ持シ居リタルモ日時ノ経過ニ伴ヒ台湾人ノ対内地人感情漸ク悪化シ新南及各地ニ於テ結成セラレタル三民主義青年團ニ學生聯盟等ニ於テハ日本誹謗ノ論議ニ行ハレ警察ノ無カト相俟ツテ各地ニ暴行、強盜、強要、立退要求等頗盛シ或ハ後未ノ警察署、警察官吏派出所ノ襲撃、或ハ會社工場団体ノ指導者ヲ殴打シ或ハ學生ハ登校セントス

- 燃料 一一・〇
- 金屬製品 二五・三
- 雜品 八・九
- 家賃 一・八

配給制度ハ全部撤廢セラレ米穀ニツキテ南部地区米作不良ノ為絶対量ニ不足ヲ生スル予想ニシテ之ガ価格ハ米一升ニ〇日ナ

0099

0097

RA'-0097

0073

(四)

ル内地人子弟ヲ收育スル事ヲ不詳事件相当發生シ得性以て之ヲ鑿
 不可能ト謂ハル。台北市天福程(台湾人町)ノ邦人住居ハ嚴密ニ
 シテ他町ニ於テモ一般ニ夜間ハ外出不能ナリト
 交通々信
 台湾内ニ於ケル交通々信ハ接收セラレタル後米ノ機關ニ依リテ行
 ハレ郵便の手等ハ新タニ特殊ノモイヲ印刷使用シ居レリト
 但シ各県向ノ日本人ノ来住ハ原則トシテ禁止セラレ居ルト傳ヘラ
 ル

(五)

教育
 大学以下各学校ハ接收後其ノ校長ハ全部罷免セラレ國民学校モ内
 地人教員ハ殆ンド退職シ台湾人教員之ニ代レリ
 文政系統ニ就テハ思ヒ切ツタル教授ノ整理ヲ実施シタル為專内字
 校ノ如クハ本邦人教師ハ二三居ルノミニシテ事實上ハ休校同然ノ
 姿ナリト

(六)

各學校ニ於テハ使用語ハ暫定的ナリモ日本語ヲ使用シ居ルモ中國
 語科ヲ新設シ修身、戸災、地理ノ授業ヲ禁止セリ
 報導機關

放送局及後米台湾最大ノ報導機關タル台湾新報ハ十一月一日接收
 セラレ(新生報ナル名称ノ下ニ中國側報導紙ニ轉ス)タルヲ初メ
 トシ公私凡テノ報導機關ハ接收セラレ、内地報送ハ戰時中ヨリ輸
 送難ノ為ラチオ部分品ノ欠乏ニ依リ聴取不能ニシテ台湾在住ノ本
 邦人ハ中國側政策下ニ於ケル報導ノミヲ耳ニスルノミニシテ不安
 焦燥ヲ感シ居ルタルヲ以テ前情報部職員ニヨリ本年一月ヨリ月刊
 雜誌「新声」ヲ発行ヲ見タリ、其ノ掲載内容ハ中國ノ政策解説及
 日本ラヂオニュースノ轉載ニシテ本邦人唯一ノ日本語ニヨル刊行
 物ナリ

因ニニ新聞紙新生報ハ四頁ノ中一頁ヲ日本語版トナシ居ルモ内地
 ニユルマスヲ掲載スル又記事内容ハ煽動的ナルモノ多ク反日的民情

0099

0100

RA'-0097

0074

(1929)

本邦人ノ生活

概況

一般邦人ノ生活ハ終戦後急激ナル変化ヲカリシ為平穩ナリシモ其ノ後前述ノ如ク台湾人ノ対内地ノ感情悪化シ治安ノ乱レルニ伴ヒ生活ニ不安ヲ生ジ未ダリ不動産ノ賣買ハ禁止セラレ、動産ノ賣買モ原則トシテ禁止セラレ居リ一方ニ於テハ配給制度廢止セラレ物価ノ昇騰止ル所ヲ知ラザル如キ様相ニ不安感増大シ殊ニ官吏ハ一部中國側ニ使用セラレ居ル者ヲ除キテハ收入ノ途絶ニ所持品ノ賣却・労働等ニヨリ辛ウシテ生活ヲ續ケ居ルモ之亦漸ク行詰リ又商人モ終戦前ヨリ長期尙商品ノ内地ヨリノ輸送社絶シ居リシ為商品ノストック無キノミナラス現地ノ対日感情悪化ノ結果原料ノ供給思ハシカラズ之亦窮境ニ在リト

(2) 援護

イ

日本側ニ於テハ官公衙ハ勿論従来ノ援護會(前戦時援護會)等何レモ所管資金全部ヲ接收セラレタルヲ以テ公的援護ノ實施不可能ナルヲ以テ日本會又ハ居留民會等ノ団体新設ニ依リ援護ヲ實施セントシカレモ中國側ニ於テ之ガ新設ヲ認メズ且、在台日本人ノ援護ハ中國側ニ於テ實施スレト称シ居ルモ未ダニ之ガ實行ナシト、依ツテ日本側ニ於テハ民向相互援助的団体ノ統合ニ努メツ、アリト

従ツテ在留邦人ハ各自所持品ノ賣却又ハ古着ノ仲買或ハ他人ヨリノ借用等ニ依ル相互扶助或ハ勞力提供等自刃ニ依リテ辛ウシテ生活ヲ維持シツ、アル現状ニシテ援護ヲ要スル對象ハ急激ニ増加シツ、ア是様ナリ

本邦人ノ引揚

(ハ)

本邦人ノ生活前述ノ如クナルヲ以テ当初ノ平穩ナリシ際ニハ在留邦人四〇方(軍人軍屬ヲ含マズ)中暴ノ過半數ハ現地ニ相当

0102

0101

0101

RA'-0097

0075

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

長期間發留ヲ希望シ居リタルモ漸次内地引揚ノ決意ヲ固メルニ至リ在留邦人殆ンド引揚グルニ至ル見透シナリ
而シテ引揚ニ関シ邦人向ニ論議トスレ居ルモ台湾省政府ハ邦人ヲ帰還セシムルヤ否ヤハ中國ノ向題ニシテ協カヲ必要トスル者ハ其ノ意思如何ニ不拘之ヲ發留セシメ然ラザル者ニ付テハ其ノ意思如何ニ不拘之ヲ送還ストノ意思表示アリタル由ナリ

(2) 現在ノ引揚状況

(1) 現在引揚ノ實施シツ、アルハ中國側ノ軍人、軍屬優先主義勵行ニヨリ軍人軍屬ノミニ限ラレ一月末ニ於ケル其ノ状況左ノ通ニシテ一般邦人ノ引揚ハ未ダ開始スルニ至ラス(軍人軍屬ノ引揚ハ十二月下旬ヨリ開始セラレタリ)

種別	在台数	引揚数	未引揚数
陸軍	約二〇〇,〇〇〇人	一四,三二五人	約一八五,六〇〇人
海軍	三,七五〇〇	一,五二〇〇	二,二三〇〇

(10)

現在引揚使用船舶(變動アリ)

一	般	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇
---	---	---------	---------

船種	一隻数	収容力	備考
米艦	二	計四〇,〇〇〇人	臨時
海軍艦	三	三九,〇〇〇	△印ハ臨時
民船	三	四〇,〇〇〇	運營會
計	八	一二〇,〇〇〇	

(11) 現在實施ノ軍人軍屬ノ所持金品

(a) 所持金
軍 屬 一〇〇〇円以下
將 校 (見習士官準士官ヲ含ム) 五〇〇円以下
下士官 兵 二〇〇円以下

(b) 携行品

1. 舊團、服三着、シヤツ三着、靴二足、米六升、乾パン、砂糖(飯盆一杯)、羊羹三本乃至四本(但シ米ハ最近ニ至リ中止サレ且右ノ許可アルモ事實上全部ハ携行不能ナリ)

2. 國債ハ持帰り金ト通算ノ上制限内ニテ許可

3. 郵便貯金通帳

4. 簡易生命保険証券、内地保険會社ノ発行シタル保険証券

及内地ニ於テ発行サレタル銀行貯金通帳

但シ右ノ内234ニ既テハ台湾ニ於ケル中國取締軍隊ニ徹底シ居ラザルモノ、如シ

(二) 引揚者取締

台湾引揚出發時ニ於ケル中國軍隊ノ取締ハ極メテ嚴重ニシテ襟ノ中華風ノ紙幣、文書等ノ隱匿個所ト思ハレ、個所ノ探査ハ徹底的ナリ

(3)

引揚ノ見透シ

現在ノ輸送状況ヲ以テ進行セバ引揚者全部ノ輸送完了ハ少ク共

本年未迄ニ實現困難ナリト思料セラル、モ履見島駐屯米軍側ノ意嚮ニ依レバ一月末或ハ二月中旬迄ニLST四〇隻ヲ貸与シ台湾ヨリノ引揚用ニ悉テ早急ニ之ガ完了ヲ期スル由ニシテ又台湾軍參謀長ヨリノ通報ニ依レバ現地ノ食糧事情漸次逼迫シツ、アル状況ニシテ目下一日九〇〇名(基隆ヨリ五〇〇名、高雄ヨリ四〇〇名)ノ引揚計画ニテ聯合軍司令部及中國政府ニ交渉シツ、アルヲ以テ之ガ實現セバ相当進捗スルモノト予想セラル、由ナリ、尚今後右計画實現ノ曉ハ一般邦人ヲモ併行的ニ引揚實施トラル、予定ナリト

(4)

引揚者ニ関スル問題

台湾ハ他地方ト異リ領有五十年以上ノ長期ニ亘リタル為在住者中ニハ其ノ故郷ニ既ニ縁故ナク後ツテ引揚ダレモ行先ナキ者相当多數アリ之等ハ他地方ト同一ノ携行物品制限ヲ以テシテハ其

ノ引揚ハ自發行爲ニ等シク而モ現地ノ情況ハ引揚ゲザルヲ得ザ
ル狀況ナル爲之等ノ携行金品ノ制限緩和ハ引揚後ノ援護ト共ニ
重大ナル内題ナリ

(九) 本邦人ノ処理機關

昭和二十年十二月下旬台湾省政府ニ於テハ本邦人ノ処理機關トシ
テ日僑管理委員會ヲ設ク、同委員會ハ民政部所管ニシテ民政次長
ヲ委員長トスル中國人官吏凡名ノ委員ヲ以テ構成シ其ノ企画運管
ヲ爲スモ委員會ノ下ニ実行機關トシテ管理組、調査組、輸送組ノ
三組ヲ設ケ各組ハ中國人ノ組長、副組長、下ニ日系官吏勅任以下
事務官、屬等ニ三十名ヲ入レ実行ニ當ラシムルモノナリ
而シテ本委員會ハ發足後日英キ爲及企画運管ニ對スル日系官吏ノ
發言权ナキ爲未ダ其ノ活動軌道ニ乘リ居ラズト

(十)

台湾省政府ノ對日態度及狀況
國府介石主席ハ台湾省行政長官公署ノ人事ヲ特ニ重大視シ其

内九

ノ主要幹部ニ付テハ慎重ナル態度ヲ以テ自ら之ニ臨ミタリト謂
ハレ派遣セラレタル王昭部ハ素質良好ナルモ下級官吏及軍人ノ
素質ハ劣悪ニシテ主腦部ノ對日態度良好ナルモ下級者ノ實際的
措置ハ又スレモ然ラズ

(2) 台湾人スラ其ノ素質及態度ニ對シ反感ヲ居レリト言ハル

右ハ良好ナル上層部ト劣悪ナル下層部トナリテ其ノ中間ニ存ス
ベキ堅実ナル中堅層ナキヲ欠陥トストノ評擧ヲナル由ナリ

(3) 日系官吏ニシテ台湾省政府ニ使用セラレツ、アル者數カラザル
モ重要事項ニ就テハ勿論参画ヲ許サズ而モ各行政ハ請負式
ノモノニシテ全体的統一ナク綜合的行政ハ期待シ得ズ予算ノ如

キニ綜合的見地ヨリ之ヲ編成スルコト不能ニシテ如斯狀態ニテ
ハ来年度予算ノ如キハ編成困難ニシテ日系官吏ハ協力ノ余地ナ
シト慨嘆シツ、アル由ナリ

大日本帝國政府

目次

- 一 飛行機要目性能表 (一ノ四該當事項)
- 二 在臺灣商船現況表 (一ノ二該當事項)
- 三 臺灣ニ於ケル商港ノ位置及説明 (一ノ八該當事項)
- 四 居留民被抑留者調 (一ノ四該當事項)

(國定規格二六二五五耗)

0110

(重一四九)

五、結 語

台湾ノ現状ノ真相ハ迄シキ情報(而モ之等情報ハ自己ノ苦心ヲ示サシ
 ガ為誇張セラレタルモノアルベク或ハ又反対ニ必要ナル憂ヲ懸念シ
 テ聴者ヲ樂觀セシメントスル意思ノ加ハリタルモノモアルベク或ハ又
 自己ノ周圍ノミノ極一部ノ状況ノミヲ以テ全般的情況ナリト遂断セル
 モノモアルベシ)ヲ以テ輕マニ判断スル事ハ危險ナルモ經濟情勢ノ変
 化ハ政治力ノ薄弱ト相俟テ治安其ノ他各方面ニ於テ本邦人ノ生活ヲ益
 マ压迫シツ、アルモノト概觀セラレ台湾ハ終戰當時ト著シク其ノ趣ヲ
 異ニスルニ至リタルコトヲ窺ヒ得ベシ

(終)

0109

RA'-0097

0079

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

飛行機要目性能表

昭和二十年八月三十一日現在

機種	機數	狀態	用途	搭載量	速度	航程	航離	所在地	所屬
六七型輸送機	六	使用可能	旅貨用	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	飛行場	大本航空會社
二一型輸送機	四	"	"	一〇〇	二八〇	三〇〇	三〇〇	"	"
高線式輸送機	五	"	"	六〇〇	一八〇	五六〇	"	"	"
司領式郵便機	三	"	郵貨用	四〇〇	三六〇	六〇〇	"	"	"
單領式郵便機	三	"	"	三〇〇	一七〇	五六〇	"	"	"

臺灣總督府交通局

(規格257 x 883 - 美濃)

昭和十九年五月五日改訂

0111

RA'-0097

0080

船種	船名	總噸數	所在地	狀態	運輸區域	所屬
汽船	三梅	一〇八	基隆	機圍修理中	台灣沿岸	運營會
汽船	三梅	一一三	"	修理待	"	"
汽船	三梅	一一三	"	機圍修理中	"	"
汽船	三興南	一一二	"	"	"	"
汽船	五梅	一〇六	"	船修帶	"	"
汽船	九葉	一〇一	蘇澳	可動	"	"
汽船	六梅	一一三	"	修理中	"	"
汽船	六梅	一一三	基隆	機圍修理中	"	"
汽船	五葉水	一〇八	"	修理待	"	"
汽船	九河	一〇六	"	可動	"	"
汽船	九河	一〇六	"	機圍修理中	"	"
汽船	四須磨	一〇一	"	機圍修理	"	"
汽船	內地	一一三	基隆	可動	台灣沿岸	運營會
汽船	六葉道	一〇五	"	"	台灣沿岸	麻生鈦業會社
汽船	興南	一五三	"	"	台灣沿岸	台灣倉庫會社
汽船	六護國	一六六	"	"	台灣沿岸	大阪報國近海汽船會社
汽船	三葉	一〇六	"	"	台灣沿岸	神戶近海汽船會社
汽船	松栄	一一三	"	"	台灣沿岸	三菱商事會社
汽船	大栄	一一三	高雄	"	台灣沿岸	運營會
汽船	二南進	八三〇	高雄	"	台灣沿岸	運營會(南方運輸)
汽船	岩宮	五四七	馬公	"	台灣沿岸	海軍省(保田和雄)
汽船	高知	一九九	高雄	"	台灣沿岸	高知縣

在台灣商船(一〇噸以上)現況表

臺灣總督府交通局港灣課

摘要(一) (內八日所屬)

(二) 本表三欄坐船及引揚中、船舶ヲ下含
 (三) 外二台灣置籍船三內地沿岸航三兼兩置(台可動)二隻下

(日本標準規格 B4 257mm x 364mm)

全野紙

0112

RA'-0097



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

臺灣ニ於ケル商港ノ位置及説明

0113

RA'-0097

0082

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

商港ノ位置及説明

臺灣ニ於テ航洋船出入露船ノ設備ヲ有スル商港ハ基隆、高雄、花蓮港ノ
三港ニシテ其位置及現況説明左記ノ如シ
尙、^{澎湖}ノ外漁港程度ノ小港トシテ蘇澳、淡水、後龍、鹿港、東石、馬公
布袋、北門、安平、烏樹林、東港、^{海山}、大板埕、臺東、新港等アリテ
漁船溜或ハ小型船溜トシテ使用サレツ、アリ
^{向枯使}
ニ於テハ新高港工事中ナリシニ未完成ニテ開港ニ至ラス現狀ハ漁
船、小型船ノ利用シ得ル小港程度ニ過ギズ

0114

基隆港現況説明

基隆港ハ航洋船二五隻ノ繫船設備ヲ有シ年間二、八〇〇、〇〇〇兩ノ經
濟荷役設備ヲ有スル商港ナレドモ空襲被害ニ依リ基隆全市ハ殆ド九五%
潰滅状態トナリ、從テ港灣設備モ被害甚大ニテ其機能モ殆ド喪失セラレ
タルモ幸ヒ輕微ナル復舊作業ニ依リ航洋船十四隻程度ノ入港及繫留ニハ
支障ナキニ至レリ。其現狀ハ次表及圖面ニ標示セル所ノ如シ。

0115

RA'-0097

0083

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0116

既成設備		建設中		既成設備		建設中	
種類	面積	種類	面積	種類	面積	種類	面積
防波堤延長	一、一六米	防波堤延長	一、一六米	防波堤延長	一、一六米	防波堤延長	一、一六米
仙洞	三、六米	仙洞	三、六米	仙洞	三、六米	仙洞	三、六米
社寮町	三、六米	社寮町	三、六米	社寮町	三、六米	社寮町	三、六米
外港鋪地	一、一六米	外港鋪地	一、一六米	外港鋪地	一、一六米	外港鋪地	一、一六米
内港鋪地	一、一六米	内港鋪地	一、一六米	内港鋪地	一、一六米	内港鋪地	一、一六米
岸壁	一、一六米	岸壁	一、一六米	岸壁	一、一六米	岸壁	一、一六米
標竿	一、一六米	標竿	一、一六米	標竿	一、一六米	標竿	一、一六米
倉庫	一、一六米	倉庫	一、一六米	倉庫	一、一六米	倉庫	一、一六米
官設倉庫	一、一六米	官設倉庫	一、一六米	官設倉庫	一、一六米	官設倉庫	一、一六米
民用倉庫	一、一六米	民用倉庫	一、一六米	民用倉庫	一、一六米	民用倉庫	一、一六米
危險物倉庫	一、一六米	危險物倉庫	一、一六米	危險物倉庫	一、一六米	危險物倉庫	一、一六米
油槽	一、一六米	油槽	一、一六米	油槽	一、一六米	油槽	一、一六米
碼頭	一、一六米	碼頭	一、一六米	碼頭	一、一六米	碼頭	一、一六米
船塢	一、一六米	船塢	一、一六米	船塢	一、一六米	船塢	一、一六米
物揚場	一、一六米	物揚場	一、一六米	物揚場	一、一六米	物揚場	一、一六米
元町	一、一六米	元町	一、一六米	元町	一、一六米	元町	一、一六米
牛久保	一、一六米	牛久保	一、一六米	牛久保	一、一六米	牛久保	一、一六米
八尺門	一、一六米	八尺門	一、一六米	八尺門	一、一六米	八尺門	一、一六米
田寮	一、一六米	田寮	一、一六米	田寮	一、一六米	田寮	一、一六米
上家及倉庫	一、一六米	上家及倉庫	一、一六米	上家及倉庫	一、一六米	上家及倉庫	一、一六米

RA'-0097

0084

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

高雄港現況

既成設備	空襲被害	現在状況	備要
標準荷役能力 年141,000噸 内地船地 1,261,600平方メートル 水深五米以上七米未満 3,500平方メートル 水深七米以上九米未満 1,000平方メートル	11隻 1隻	1,100噸 1,700噸	沈没船ノ爲港口航行不可ナリ 沈没船ノ爲港口航行不可ナリ 沈没船ノ爲港口航行不可ナリ 沈没船ノ爲港口航行不可ナリ
航路 幅員 182米 水深 9.6米 港口有効幅員 130米	沈没船 2隻		港口航路ニ沈没船ノ航行不可ナリ
防波堤 延長 938.8米		938.8米	
防砂堤 延長 938.8米		938.8米	
霧岸壁 船席 1,287.7米 自第1至第10船席 延長 1,287.7米	750米 450米	1,637.7米 877.7米	岸壁ニ對スル被弾比微ナルモ五船席ノ使用不能ナリ
自第11至第17船席 延長 780米 新濱岸壁 船席 2,280米	300米	4,800米	使用上大ナル支障ナシ
棧橋 1,522米 船席 3,911米 新濱棧橋 船席 1,911米 入舟町棧橋 船席 621米	被弾一箇所	1,522米 1,911米 621米	引揚容易ナリ
浮橋 延長 3,000米 總巾敷 1,000巾級 6箇 總巾敷 2,000巾級 6箇	被弾一箇所 延長 1,000米	延長 3,000米	約五割使用不能
上家及倉庫 1,261,600平方メートル 官設上屋及倉庫 1,261,600平方メートル 民設倉庫 1,070,100平方メートル	被弾一箇所 延長 1,000米 1,261,600平方メートル 1,261,600平方メートル 1,070,100平方メートル	1,261,600平方メートル 1,261,600平方メートル 1,070,100平方メートル	使用上支障ナシ

0120

RA'-0097

0087

<p>一 船渠 乾船渠 1000 屯 浮船渠 200 屯 船渠 200 屯以下</p> <p>一 運河 延長 四八六六 高津川運河延長 一七六四米 三三米 水深 一四米 三三米 水深 一四米 三三米 水深 一四米 三三米 水深 一四米</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>
<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>
<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>
<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>	<p>一 貯水場 約 2000 平方米</p> <p>一 貯炭場 約 1880 平方米 貯炭量 2000 屯</p> <p>一 荷役設備 電氣 1 屯 固定 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動 電氣 1 屯 移動</p>	<p>一 油槽 貯油量 2000 屯</p> <p>一 給油設備 給油機 1 台 給油機 1 台 給油機 1 台</p> <p>一 酒精タンク 貯藏量 2000 屯</p> <p>一 給水設備 給水機 1 台 給水機 1 台 給水機 1 台</p>

0121

RA'-0097

0088

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

一 船 橋	三三三三三 平方米	三三三三三 平方米	一〇〇〇〇〇 平方米
海防町 埠頭	一一三〇〇 平方米	一一三〇〇 平方米	
水深 二七米	一六六米		
晴船町 埠頭	三三三〇〇 平方米		
水深 二七米	一六六米		
平和町 埠頭	六六六〇〇 平方米		
水深 二七米	一六六米		
新濱町 埠頭	八八二〇〇 平方米		
水深 二七米	一六六米		
鐵町 埠頭	一〇〇〇〇 平方米		
水深 二七米	一六六米		
大陸港 埠頭	二二二二二 平方米		
水深 二七米	一六六米		
被彈敷箇所			

小型船ノ沈没モ及ビ
ノ航行ノ自由ナリ

埠頭地帯鐵道ハ被害
ナリ依リ全部不通状態

0122

花 蓮 港 現 況 説 明

花蓮港ハ航洋船三隻(三千噸級以下)ノ繫船設備ヲ有シ年間四五〇、〇〇〇噸ノ入港不能トナレルモ幸ヒ輕微ナル復舊ニ依リ三千噸級航洋船一隻ハ入港繫留シ得ベク目下沈船引揚作業進行中ナリ
其他機帆船ノ入港ハ支障ナキニ至レリ
其現狀ハ次表及圖面ニ標示セル所ノ如シ

0123

0089

RA'-0097

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

花邊港現況

既成設備	空襲被害	現在状況	摘要
一 繫船設備 三千噸級 三船 席級 一 荷役機力 四五〇〇〇噸 一 防波堤 一五三〇米 一 東防波堤 一三三〇米 一 西防波堤 二〇〇米 一 鋪地 一 主屋鋪地 水深七五米 七〇〇〇〇平米 一 機帆船溜 水深三五米 三五〇〇〇平米 一 航路	沈船ノタメ使用困難トナル 三〇〇〇〇噸	一五〇、〇〇〇噸 一、五三〇米 一、三三〇米 二〇〇米 三五、〇〇〇平米	沈船アルモ機帆船數隻ノ碇泊可能 編員最少数五〇米 三千噸級 三船席ノ施設ノ沈船ノタメ大型船ノ接岸困難

一 延長 一、〇〇〇米 一 棧 一 延長 四一〇米 水深七五米 一 物揚機 六六〇米 一 漁船護岸 水深三米 三六〇米 一 運河與護岸 水深三五米 三〇〇米 一 上家及倉庫 一 官設上家倉庫 面積四三〇〇平方米 一 官設上家倉庫 面積一棟九〇〇平方米 一 倉庫 面積一〇八平方米	全部焼失 四三三〇平方米 一棟大破 四八〇平方米 全部焼失 一〇八平方米	一、〇〇〇米 四一〇米 六六〇米 三六〇米 三〇〇米 一棟 四八〇平方米	焼失上家ヲ應急處置ニヨリ假設ス 専用設備
--	---	---	-------------------------

0124

RA' -0097

0090

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

民設倉庫三棟 二四二平方米
危險品倉庫一棟 一〇九平方米
鐵道
埠頭ヨリ花運港驛ニ至ル

二棟焼失倒壊
八三三平方米

一棟 五二八平方米
一棟 一三九平方米

民設
埠頭ヨリ花運港驛ニ至ル
能ナリ

0125

RA'-0097

0097

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan